

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	30
学校名	富山県立高岡商業高等学校

学校の現状と課題	本校は、職業的・社会的自立を目指したキャリア教育の推進を中・長期ビジョンのひとつに掲げ、社会で活躍できる実践力を備えた人材の育成を目指している。この目標を達成するための特色ある教育活動として、模擬株式会社によるビジネス活動の実践を通して、商業の専門性を高め社会性を身につけてきた。さらに福祉施設、商店街連盟などと協同でビジネス実践活動を実施し、専門性をより確かなものとする方向で進めてきたが、今後一層の充実を図っていく必要がある。			
テーマ(特色)	ビジネス実践を通じた地域交流活動の充実			
設定した「テーマ」の達成状況	模擬株式会社の運営における商品開発、販売計画、地域活性化への取り組みなどの活動を、関係機関をとおして、福祉施設、商店街連盟などと協同して行った。外部団体の関わりから、郷土の良さを再発見したり、地域社会を大切に思う心を育んだり、地域社会において自分たちが果たすべき役割などを主体的に考える機会にするとともに、地域社会に貢献する人材育成に繋げる。			
実施内容 (具体的に記入する)	<p>1 地域交流～地域から学ぶ・商品開発や店舗経営研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活躍されている経営者などを招き、生徒に対して「地域再発見」「接客マナー」「店舗経営」等の講義や実技指導を受けビジネス教育を深める。また、全校生徒が店頭での販売実習に参加する。 ・福祉施設、商店街連盟などと協同し、商品の開発から仕入れ、販売、決算までを行う。 <p>2 Web等を活用した情報発信の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本校のHPにおける模擬株式会社りゅうりゅうの活動(新商品、イベント案内等)をリアルタイムで紹介する等充実させるとともに、外部との相互リンクし情報発信を拡大する 			
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、1・2年生延べ228名 3年生延べ258名 計約延べ486名の生徒が、下記の商品開発及び販売実習の事例に携わった。これらの活動を通し、生徒たちは地域が抱える諸問題を発見し、協働を通し問題を解決する重要性(問題解決能力)や、資料・データの収集と分析、議論の進め方、他者への理解や共感、プレゼンテーション力(論理的思考力)を向上させた。また、商業のさまざまな授業で身に付けた知識や技術が、これらの活動に大きく活用できることを知り、学習や商業の各種検定取得に対する意欲の一層の向上もみられた。 <p><実践事例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬株式会社「りゅうりゅう」常設店舗での販売活動において、生徒と県内業者と連携し地元高岡の農産物を利用し開発したヨーグルトやおかき、飴をはじめ、ポロシャツやタオルなど高岡商業高校オリジナルグッズを販売した。また、市内就業支援施設で製造されているクッキーやグッズの委託販売することで、学校及び地域への理解を深めた。 ・高岡市内を中心とした小売店頭での販売活動にも積極的に取り組んでおり、3年生全員が販売を通して「地域再発見」「接客マナー」「店舗経営」等のビジネス実践への理解を深めた。 ・課題研究にて地元事業者の協力のもとパンやケーキの商品開発を行い、商品の開発から仕入れ、販売、決算までを行うことで、課題や改善点を探ることができた。 ・高岡市商工会議所と連携し、模擬株式会社りゅうりゅうの活動(新商品、イベント案内等)をリアルタイムで紹介する等充実させるとともに、ライブ配信について研究を進めることができた。 			
対象者(学年・人数など)	・本校(商品開発及び販売実習参加)生徒 1・2年生延べ約30名 3年生延べ300名 計約延べ約330名			
実施実績	4月	模擬株式会社の運営	地元企業との連携による商品開発	
	5月			
	6月		Web等を活用した情報発信の拡大	
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月		↓	
	2月			
	3月	↓		↓